

座禅を相んで禅の心を学ぶ子どもたち＝岐阜市岩田西、林陽寺



## 小中学生、精神集中し座禅

岐阜市の林陽寺 県内外の26人体験

岐阜市岩田西の曹洞宗林陽寺で「子ども禅のつどい」が開かれ、県内外の26人が座禅などを通して禅の心を学んだ。

「つどい」は同寺が毎年夏休みに開き、今回は同市や各務原市、関市、名古屋市の小学生1年生から中学1年生までが参加した。

「あいさつする、靴をそろえる、仲間をつくる」と三つの約束を確認した後、岩水龍峰住職が「座禅で沈黙

「たと思える市の実理...」  
「政治を身近に感じら...」  
「合を高め、市内での街...」  
「宣に繰り出した。」

の時間や我慢の心を持ちましよう」と語った。全員で般若心経を読んだ後、座禅を組み、児童らは「足がいたかったけど頑張った」などと話していた。

岐阜市のギャラリー一成さん(50)と由香里さん(51)夫婦、長女桜子さん(20)による作品展

## 油絵や貼り絵、個性的

### 島中美術部員が作品展

岐阜市則武西の島中サ21で開かれており、中学生の力作に買い物客らが足を止めて見入っている。7日まで。

ほか、竹ほっくりを作るなどして互いに交流を深めた。(佐名妙予)

**岩田**

# 林陽寺で子どもたちが座禅体験



7月28日、岩田にある林陽寺で「夏休み子ども禅のつどい」が行われ、同寺のホームページ

から応募した、小学生から中学生までの子どもたち26人が参加しました。岩水龍峰住



観が「あいさつをしよう、友だちを作ろう、ふ

だんの生活を大切に、食事を大切に、という心構えで今日一日修行と遊びを一生懸命に行



って下さい」とお話があり、まず子どもたちは般若心経を読み座禅

に挑戦。本堂で子どもたちは神妙な顔つきで座禅を組んでいました。その後、本堂や境内の掃除や夕食のカレー作りをしたあと、竹を使ったおもちゃ作り、夜には花火遊び、肝試しを楽しんでいました。